

海岸通りギャラリー-CASO

小さな旅の終わりに、大阪の天保山で素敵なア - トスペ - スを見つけた。

「海岸通りギャアリ - CASO」

赤レンガの住友の倉庫の横の海辺のところ。現代ア - トがテ - マだから、一人で海辺の風に吹かれる気分で口笛を吹いたりして、今日一日は幸せになれる。

入館料が五百円。まず入口横の階段から、明るい2階のレストコ - ナ - に上がる。すると最初の展示室だけは上から作品が見渡せる。自販機のコ - ヒ - を飲みながら、不思議な気分で作品を眺めて、五百円、入ろうか、せつないけれど帰ろうか、と考えていると、隣の彼女がおっしゃった。

「見たわ。別に入らなくてもいっしょでしょ」

見たわって、あなた、それはやっぱり違うでしょう。そんなことでは深遠な現代ア - トを理解出来ない。芸術を愛する心が育たない。

どこの町でも海岸通りは素敵なおとこです。小さな喫茶店とスナックがあって、夜は飲み屋になる食堂があって、いくつか古いビルが並んでいて、夕暮れに人通りのない通りには薄汚れた犬がうろついていて、いつも西から風が吹いている。

僕の小さい頃、天保山は路面電車の終点でした。道路の向こうで線路は無くなっている。だから寂しい駅の終点で降りる何人かの人を降ろしてしまうと、しばらくして元の道を電車は帰って行くんです。でも、一日に一度、ほら線路がそのまま海の向こうに続いていて、顔なしや、ゲンじいさんや千尋を載せた電車は、夕暮れの町から夕日の流れる海の中を、静かに波を分けながら進んで行くのです。

